

ゴーゴーカレーのファンと記念撮影に
収まる宮森さん(中央右)
＝マンハッタン(杉山圭一郎撮影)

金沢カレー

NY定着



【ニューヨーク】ロサンゼルス支局杉山圭一郎(金沢市)が今月、マンハッタンに2号店を開店した。1号店は月に6万ドル(約480万円)を売り上げる優良店で、地元メディアも認める人気グルメへと成長した。ニューヨーク初上陸から5周年を迎える今年には出店ラッシュを計画。目指すは「金沢カレー」ブームの全米展開だ。



NY2号店の店内。右のキャップ姿が大森さん



ゴーゴーカレー
上陸5周年 2号店開店

出店ラッシュへ

55セント555食

マンハッタン南部のワシントン・スクエア公園から徒歩2分。ニューヨーク大学(NYU)に程近い好立地に15日、待望の2号店が誕生した。カツカレーは開店日特別価格の55セント(約44円)。肌寒さが残る天候ながら、長い行列は途切れることなく、夕方には限定555食が売り切れた。

日本通の米国人男性は「おいしかった。明日は納豆カレーを食べに来ます」と満足げだった。

ゴーゴーカレー代表の宮森宏和さん(38)は上々の初日を見届け、肩をなで下ろした。思えば、1号店の開店準備は苦勞の連続だった。出店候補地が二転三転し、調理器具の調達も納期遅れが当たり前。海外初挑戦の不安も相まって、さすがの「ボジティブ社長」も気疲れて沈んだ。

多くの常連客

今や1号店は多くの常連客を抱え、NYのB級グルメとも言える

人気ぶり。ニューヨーク「ク・タイムズ紙など大々」と宮森さん。米国法人「GoGo Curry」の社長には、日本集に取り上げるまでにSAの社長には、日本食などを紹介する英字フリーペーパーの責任者を務めていた大森智子さん(38)「七尾市出身、NY在住」を抜擢。思い出。これまでの経身、NY在住」を抜擢。たい」と目を輝かせた。

「振り返れば、いい経験があったから今がある」と宮森さん。米国Y3号店やNY州外への進出計画も順調に進んでいる。社長就任からわずか3カ月で開店にこぎつけた大森さんは「カレーでNYを元気にさせたい」と目を輝かせた。

2012年3月21日掲載

北國新聞：夕刊 7ページ